

2010年8月2日

各県連事務局長 殿
各歯科院所長 殿

全日本民主医療機関連合会
会 長 藤末 衛
歯科部部长 江原 雅博
(公印省略)

第39期全日本民主医療機関連合会
「第19回歯科学術・運動交流集会」
開催案内・演題募集要項の送付について

貴県連・歯科施設の日頃のご奮闘に心より敬意を表します。

2011年2月19日（土）～20日（日）に東京都千代田区で、「全日本民医連 第19回歯科学術・運動交流集会」を開催致します。

すでに東京・埼玉・神奈川の各県連の協力もいただきながら実行委員会を組織し、開催に向け準備をすすめています。つきましては、歯科職員から多くの演題を寄せて頂くために、地協・県連などを中心とした積極的な取り組みをお願い致します。

演題については、まず発表希望者に「演題登録申し込み票」で演題登録をして頂き、実行委員会で採否を検討致します。その後、採用演題を全歯科施設へ郵送などの方法でお知らせ致します。それに併せて、演題採用者には「抄録原稿の作成について（仮題）」「パソコンプロジェクターの使用要領（仮題）」などの各要領を送付致します。

なお、演題登録の〆切日は2010年9月15日（水）とさせていただきます。「演題登録申し込み票」を〆切日までにE-mailにてご提出ください。

本通達は歯科施設へ直送致しますので県連担当者の方はご承知おきください。

以 上

-お問合せ先-

〒113-8465

東京都文京区湯島2-4-4 平和と労働センター7F

全日本民医連 歯科部担当事務局 松橋有沙

電話(03)5842-6451/ファクシミリ(03)5842-6460

歯科部E-mail min-shika@min-iren.gr.jp

第39期全日本民主医療機関連合会

第19回歯科学術・運動交流集会開催のお知らせ

<演題募集要項>

<メインテーマ>

誰のための技術か

～患者さんに寄り添うことで創られる

民医連歯科の集団の技術～

◇ 日 時 : 2011年2月19日(土) 12:00～

20日(日) 12:00(予定)

◇ 場 所 : ヴェルサール八重洲(東京都)

皆様の日頃よりのご奮闘に心より敬意を表します。

今回の実行委員会は関東甲信越と東京を中心に15人の委員を構成し、来年の開催を目指して頑張っており、引き続き取り組んでいます。

前回の横浜集会から約2年半後の開催ですが、景気の回復は未だ望めず、2009年総選挙で国民の生活が第一と言って与党となった政党も国民の願いとはほど遠く再びねじれ国会運営と成っており、依然として出口の見えない状態が続いています。雇用や暮らしは依然として不安定で年間三万人もの自殺者にも歯止めが掛かりません。

前回「守ろう命～地域の人々と共に未来へ～」をテーマに開催した集会では患者さんの命は宝物であり、同時に共に働いているスタッフもまた宝物である、と私は確信しました。民医連歯科は皆平等に全力をつくして、日々診療にあたっているものと思います。

しかし、私ごとではありますが、日々の業務に追われ自分のやっている医療を振り返り、評価することができない時が多々あります。多分、みなさんも同じような経験をお持ちでしょう。この歯科学術運動交流集会をその振り返りの場として活用して頂き、皆さんの経験を共有していきたいと思います。

また、私たち歯科医療従事者達はよりよい歯科医療のためにと日々の研鑽を重ねていますが、それはいったい何のために行うのでしょうか？民医連の事業所に所属する私たちは民医連綱領に基づき、その方針に沿って医療を展開していますが、そのレビューを行う良い機会と捉え、また自問自答出来る様にとテーマを設定致しました。

また新しい試みとして、今回は従来の口演発表の他にポスターセッションも設けました。皆さんが日ごろ苦勞して工夫された経験を交流することで、私たちの目指す医療を行う上で欠かせない技術について確認したいという考えです。

様々な文化を持つ民医連歯科事業所の職員が小さな前進を皆さんと共有することで、大きな前進と確信へと変わる事を信じています。

前を向いて共に進めるように、私自身が日頃の自分の医療を振り返る場にしたいと思いき楽しみにしています。

日程と会場の関係から少し駆け足での進行と成りますが、皆様の参加を心よりお待ちしております。皆さんの経験を大いに交流し合う事で、豊かな歯科学術運動交流集会にしていきたいでしょう。

2010年8月2日

第19回歯科学術・運動交流集会実行委員会

実行委員長 大田歯科・吉田 心一

1. 概 要

【日時・会場】

◇日時：2011年2月19日（土）12：00～20日（日）12：00（予定）

◇会場：ヴェルサル八重洲

「日本橋駅」A7出口直結(東西線、銀座線、浅草線)／「東京駅」八重洲北口徒歩3分(JR、丸ノ内線)

◇主催：全日本民医連歯科部

◇規模：300名（地協ごとの期待参加数の目安は改めて提案させていただきます）

◇対象：民医連職員、共同組織、歯系学生の方々など

【開催にあたっての基本的考え方】

民医連歯科の歴史を振り返るとともに、すべての民医連歯科の活動を結集させ、交流・論議を行い、到達点を確認し、今後の民医連歯科の転換の課題などを明らかにする。そのためにすべての民医連歯科事業所に演題発表と参加を呼びかけます！

2. 企 画

1. 分科会＜演題募集テーマ別紙参照＞

別紙の「演題募集テーマ」にもとづき幅広く演題を募集し、分科会を構成します。便宜上4つのテーマを設定しましたが、幅広い分野での演題をぜひ多く寄せていただきたいと思います。

今回の分科会は口演・ポスターセッションで構成されます。応募者の形態としては口演とポスターセッションの2種類があります。応募の際に発表形態の希望を取りますが、内容によっては変更をお願いしますのでご了承下さい。

尚各事業所から1演題以上の登録を目標として取り組んでいただけてますようお願い致します。

①口演について

発表時間 7分、討論時間 3分の予定です。発表に際しては、抄録以外にパソコンプロジェクターによるパワーポイントのみ使用可能です。パワーポイント以外のソフトや動画、スライドやOHPは使用出来ませんのでご注意下さい。また、当日の資料配付も出来ませんのでご了承下さい。

②ポスターセッションについて

ポスターセッションは、展示期間中参加者が自由に見ることができ、そのためあらかじめ質問を準備することが出来ます。また、発表者と参加者で直接質疑応答ができ、ポスターの写真撮影も可能なため大変好評です。

発表時間 5分、討論時間 3分の予定です。抄録以外に模造紙(788 mm×1091 mm)縦方向 1 枚以内にポスターを作成して下さい。当日の資料配付は出来ませんのでご了承ください。

2. 記念講演・全体企画

現在検討中です。決まり次第お知らせ致します。

3. 応募要領

1. 演題登録について

- (1) 歯科部ホームページ(→歯科学術・運動交流集会→第19回歯科学術・運動交流集会)から、ファイル「**演題登録申し込み票**」をダウンロードし、必要事項を入力の上、

2010年9月15日(水)までに、**Eメール**にて、全日本民医連歯科部事務局までご提出ください。また以下の要領に従ってお申し込みください。

送信先(歯科部事務局): `min-shika@min-iren.gr.jp`

- * 最後に記したⅠ～Ⅳの演題募集テーマから、必ず一つ指定して下さい。内容がいくつかにわたる場合は、主たるテーマをひとつ選択して下さい。
- * Eメール送受信の際は、ファイルの破損や迷惑メールへ仕分けられることなど、担当者が申し込みを受けるまでにいくつかのリスクが考えられます。したがって、下記の手順に従ってお申し込み下さい。

<Eメールでの演題登録申し込み手順>

1. 全日本民医連歯科部 HP からファイル「演題登録申し込み票」をダウンロードする。
ファイルは「Excel(Microsoft 社)」の1種類です。
2. 必要事項を入力する。
3. ファイル名は申込者の氏名にする・・・例) 民医連太郎 (スペース不要)
4. ファイルをEメールで添付送信する。
 - ① 件名(メールの題)に「歯科学運交演題登録」と入力する。(「」は不要)
 - ② 本文中に申込者名、所属県連・施設名、演題登録申し込みの旨を入力する。
 - ③ メール文の書式をテキスト形式にする。
 - ④ 入力済のファイル「演題登録申し込み票」を添付する(ファイル名は氏名に)。
 - ⑤ 宛先を間違えないように設定する。(アドレスを入力する際は特にご注意ください)
 - ⑥ メールを送信する。
 - ⑦ 送信メールは演題採否決定まで保存しておく。

以上の要領を必ず守ってください。演題採否決定後、演題採用者一覧に名前が無かった場合は、全日本民医連事務局松橋へご連絡ください。事務局が申し込みのメールを正常に受けられていない可能性があります。

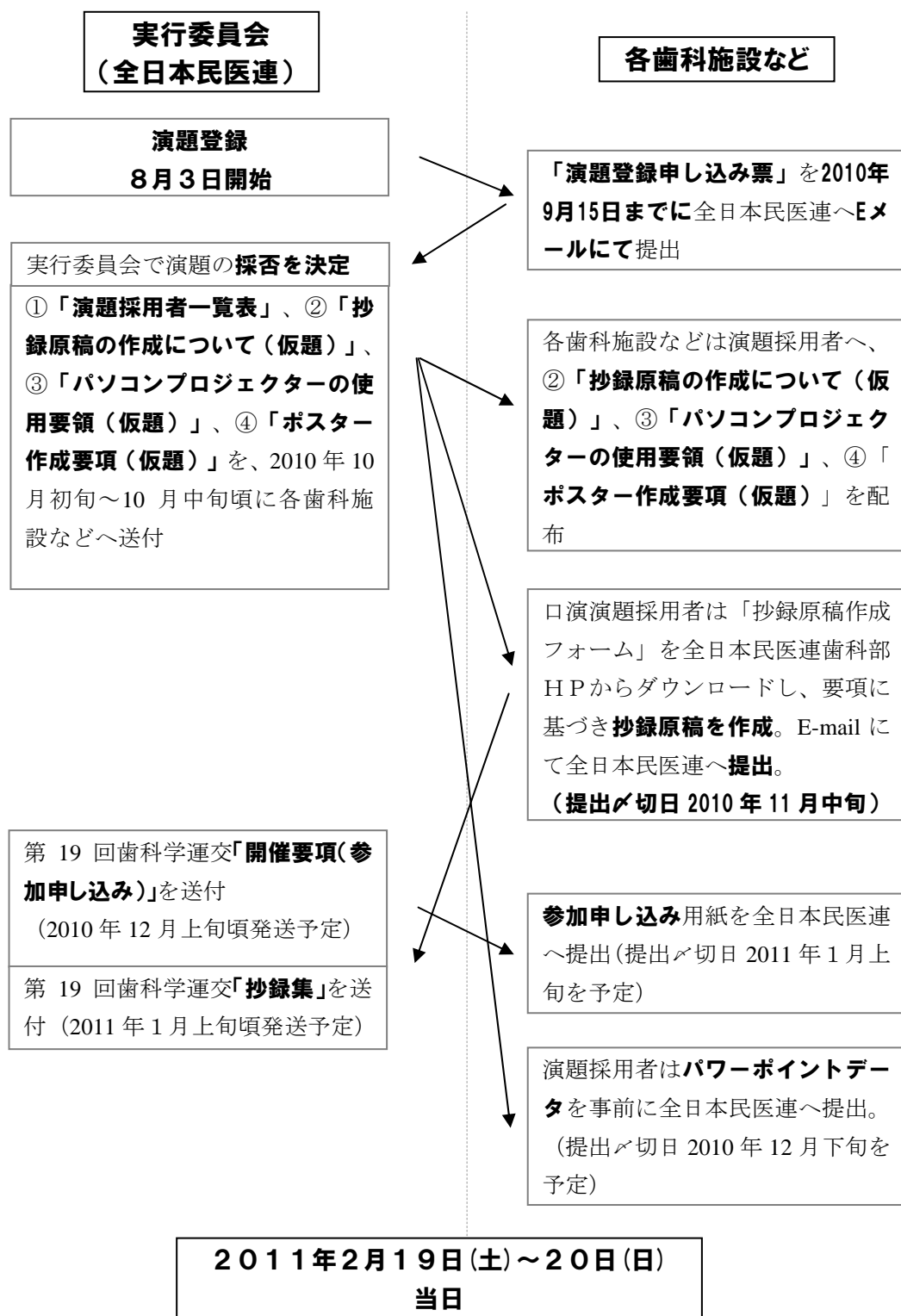
※その他メール送信等についてご不明な点がございましたらご連絡ください。

- (2) その後、実行委員会で演題の採否を決定させていただきます。
- (3) 採否の結果は、10月初旬～10月中旬に採用演題一覧表と各要項（①「抄録原稿の作成について（仮題）」、②「パソコンプロジェクターの使用要領（仮題）」、③「ポスター作成要項」）を併せて全県連、全歯科施設へ郵送し発表とさせていただきます。個々の応募者には通知致しませんのでご承知ください。

※口演での演題発表方法はパワーポイントの使用を原則とします

*演題登録、参加申し込みなどの当日までの流れは次ページをご参照ください。

◆. 演題登録申し込みから当日までの流れ



* 抄録原稿作成・提出、発表用パワーポイントデータ提出、参加申し込みに関する要項は、上記の流れの通り後日お送りします。

* ポスターセッション用のポスターは報告者が現地持ち込みになっております。
つきましては、「演題登録申し込み票」に必要事項を入力の上、Eメールにてお申し込み下さい。**提出〆切日は2010年9月15日(水)必着**です。

演 題 募 集 テ ー マ

〔Ⅰ〕 医療の安全性の追求・患者サービスの向上

- ・ 安全・安心の取り組み（院内感染・医療事故防止）
- ・ 医療事故への対応・リスクマネジメント
- ・ 患者対応・アポイント管理の取り組み
- ・ 院内ＩＴ化の取り組み
- ・ 満足度向上にむけての取り組み
- ・ カルテ開示・治療計画の共有化 など

埼玉県歯科医院で幼児の歯科治療中の死亡事故がありました。ヒヤリハットの取り組み、各職員の技術の向上・チームワークのレベルアップが、医療の安全性につながり、患者サービス向上にもなってきます。

経済的・通院の制限・全身疾患など、患者さんの置かれている状況はますます複雑化しています。治療計画の共有や合意と納得の医療、かかりやすさの追及が重要になっています。

「誰のための技術か」その視点を忘れずに、民医連歯科医療としての安心・安全・信頼の医療を考えていきましょう。

〔Ⅱ〕 歯科医療(QOLの向上をめざして)

- ・ 在宅・介護分野での取り組み
- ・ 高齢者・障害者に関する日常診療の取り組み
- ・ 医科、介護部門との連携
- ・ ペリオの予防・管理の取り組み
- ・ 医療技術の向上
- ・ 矯正・小児治療の取り組み
- ・ チーム医療（各職種との技術連携）など

超高齢化を迎える日本。今まで以上に高齢者歯科医療が重要になってきます。特に在宅・介護分野へ歯科がどの様に関わっていくのかは、歯科が存在意義を示す重要な取り組みであると共に、民医連の歯科医療の力を大いに発揮できる場所です。NSTの取り組みや多職種で口腔機能の改善に関わった事例など、まだ具体的な成果や結果がなくても、分科会の中で意見ももらいながら今後発展する取り組みとして、是非ご応募ください。お待ちしております。

【Ⅲ】 経営改善・事業展開への挑戦

- ・ 医療経営構造転換・経営改善の取り組み
- ・ 管理運営上の取り組み・ISO認証取得の取り組み
- ・ 人づくり・後継者対策・臨床研修施設取得への対応
- ・ メンタルヘルス
- ・ リニューアル・事業拡大の取り組み
- ・ 地協・県連の取り組み、新歯科建設 など

医療を提供し続けるためには黒字経営を追求する事は大切です。

その一方で患者の権利を守る取り組みも非常に大切です。

「すべての事業所で黒字化」の取り組み、往診を増やして患者増になった、決意して、職員の力を引き出し、県連・地協に結集して経営改善したぜひ経験をお寄せください。今年度のプラス改定での経営改善を目指している院所の報告もお待ちしています。

また、民医連医療の後継者としての人づくり・後継者対策もまた大切な課題です。取り組みの報告を皆で共有し学びましょう。

【Ⅳ】 社保活動・地域、共同の取り組み

- ・ 憲法を守る取り組み
- ・ 患者の権利・受療権を守る取り組み
- ・ 共同組織拡大や地域との協力共同
- ・ 地域における歯科予防活動
(歯みがきセミプロ養成講座・口腔ケア教室など)
- ・ 反核平和活動・政治革新の取り組み など

前回に引き続き、力を入れている演題テーマです。歯科酷書が発行されて、大きな反響を呼んでいます。受療権侵害の事例・症例、無料低額診療など受療権を守る取り組みなどなど、多数の申し込みお待ちしております。このテーマは特に民医連ならではの医療活動が展開されていると思います。皆さんの取り組みを全体で共有していきましょう。また、未来に向かって元気の出る演題もお待ちしております。小さな行動の中にも大きな未来があります。積極的な演題登録をお願いします。

その他、上記に関わらず応募下さい。